

令和5年上半期における刑法犯認知・検挙状況について【暫定値】

1 刑法犯認知・検挙状況

	R5.6末	R4.6末	増減数	増減率(%)
認知件数	333,003	274,880	58,123	21.1
検挙件数	125,335	119,470	5,865	4.9
検挙人員	85,884	80,710	5,174	6.4
検挙率(%)	37.6	43.5	-5.9ポイント	

2 主な特徴点（別紙参照）

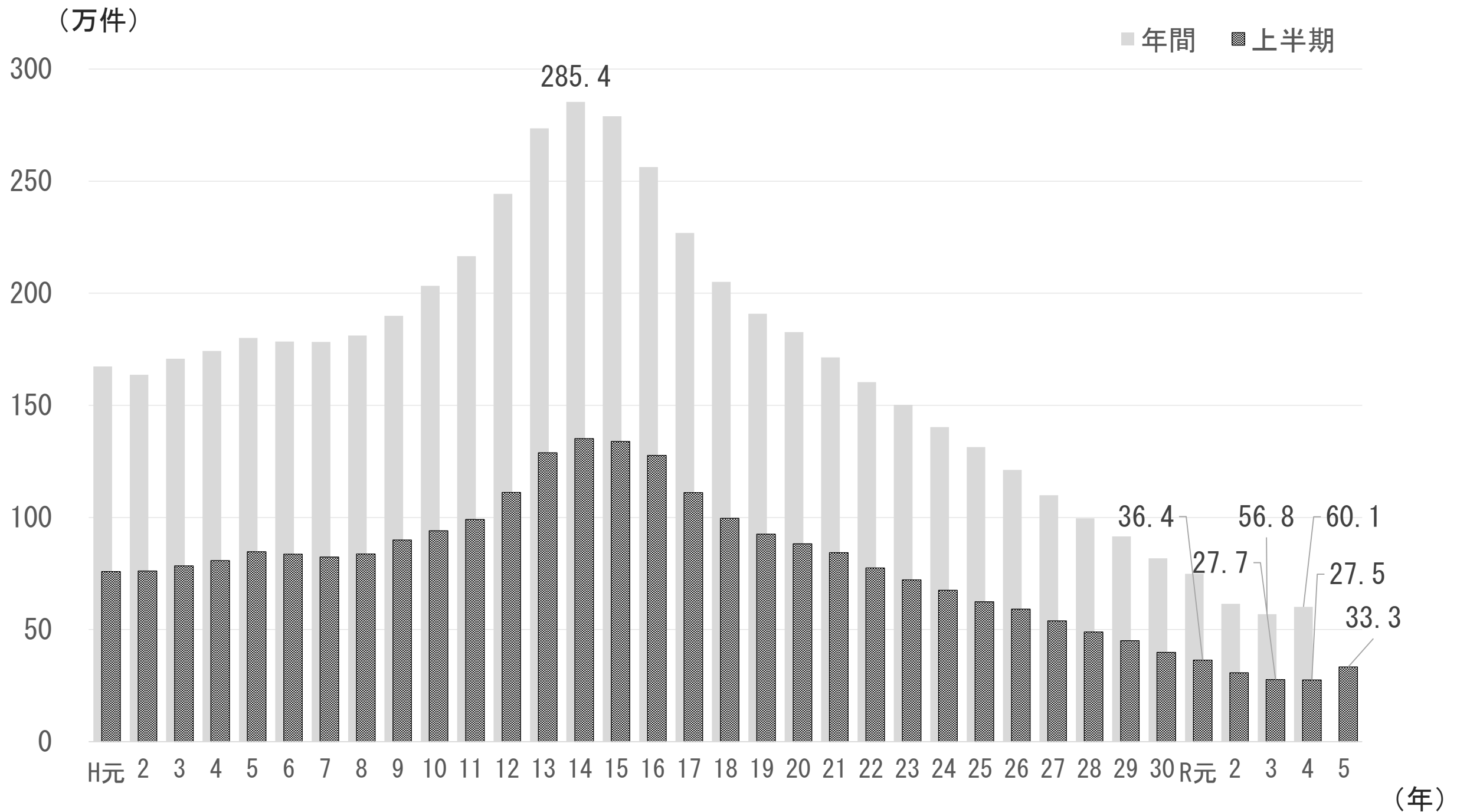
(1) 認知状況

- 令和5年上半期における刑法犯認知件数は33万3,003件で、前年同期比で21.1%増加した。このうち、街頭犯罪の認知件数は11万744件で、前年同期比で29.7%増加、侵入犯罪の認知件数は2万7,741件で、前年同期比で28.0%増加した。また、重要犯罪の認知件数は5,137件で、前年同期比で16.5%増加した。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、刑法犯認知件数は8.4%、街頭犯罪の認知件数は13.7%、侵入犯罪の認知件数は18.8%それぞれ減少、重要犯罪の認知件数は9.1%増加となっている。
- 包括罪種別に見ると、窃盗犯の認知件数は22万8,889件で、前年同期比で23.8%増加しており、刑法犯認知件数の増加に対する寄与率は75.6%となった。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、窃盗犯の認知件数は11.0%減少となっている。

(2) 検挙状況

- 令和5年上半期における刑法犯の検挙率は37.6%で、前年同期比で5.9ポイント減少、重要犯罪の検挙率は84.1%で、前年同期比で1.1ポイント減少した。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、刑法犯の検挙率は1.2ポイント減少、重要犯罪の検挙率は0.1ポイント増加となっている。

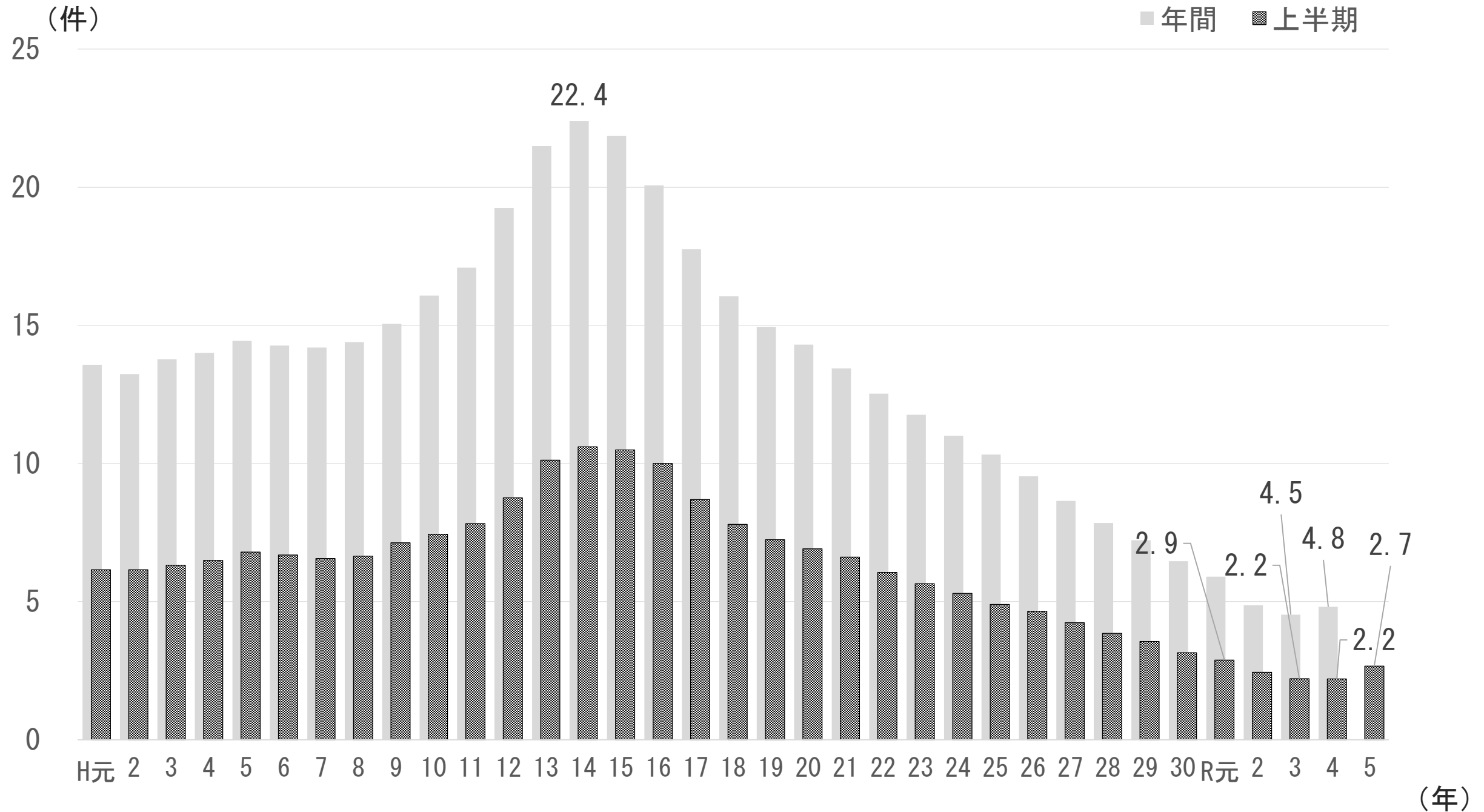
※ 令和5年上半期の数値は暫定値。以下同じ。



令和5年上半期における刑法犯認知件数は33万3,003件で、前年同期比で21.1%増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、8.4%減少となっている。

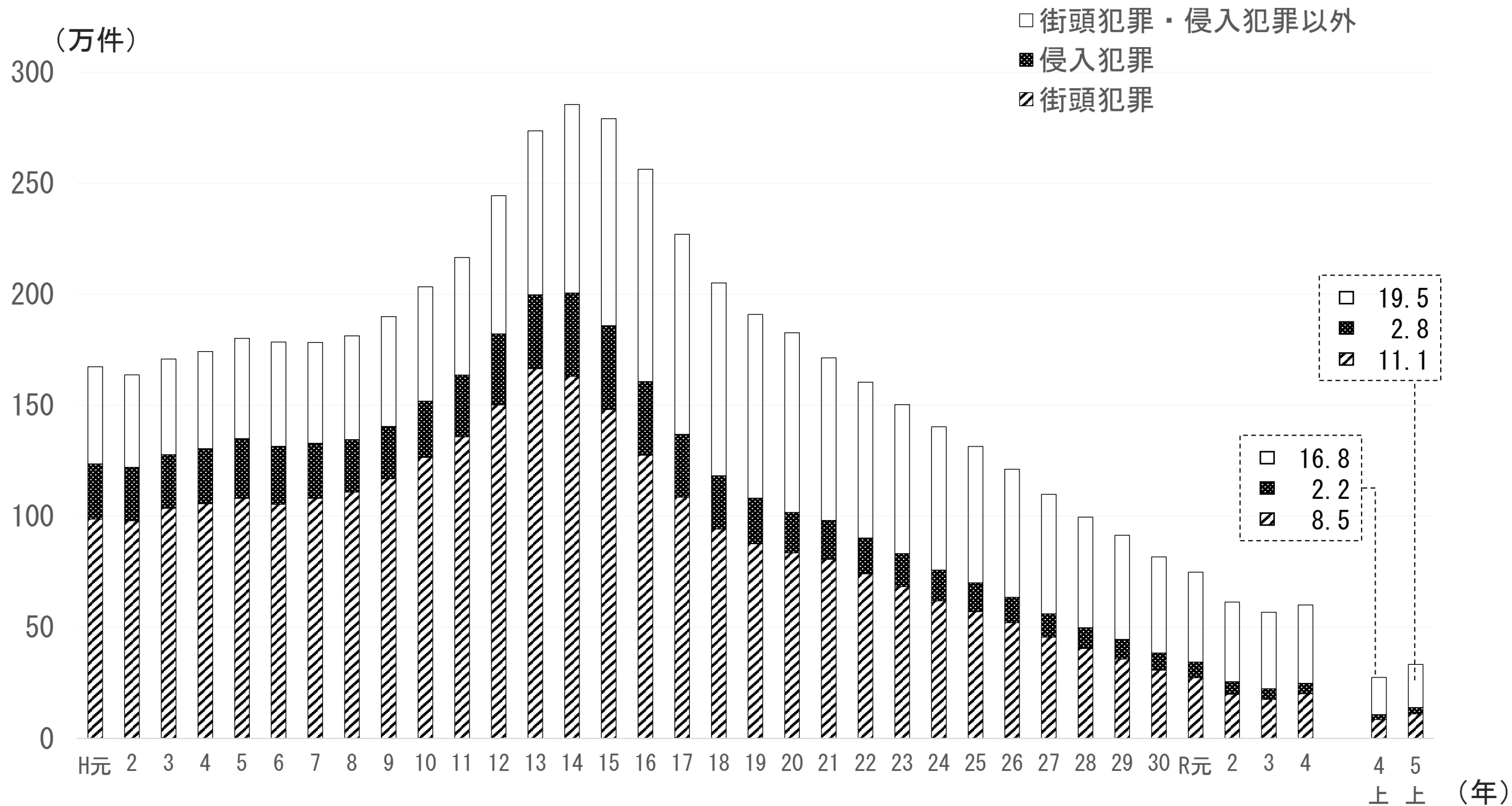
人口千人当たりの刑法犯の認知件数の推移

※ 人口は、総務省人口推計又は国勢調査人口による各年10月1日現在の総人口。
ただし、令和5年上半期は令和4年の人口。

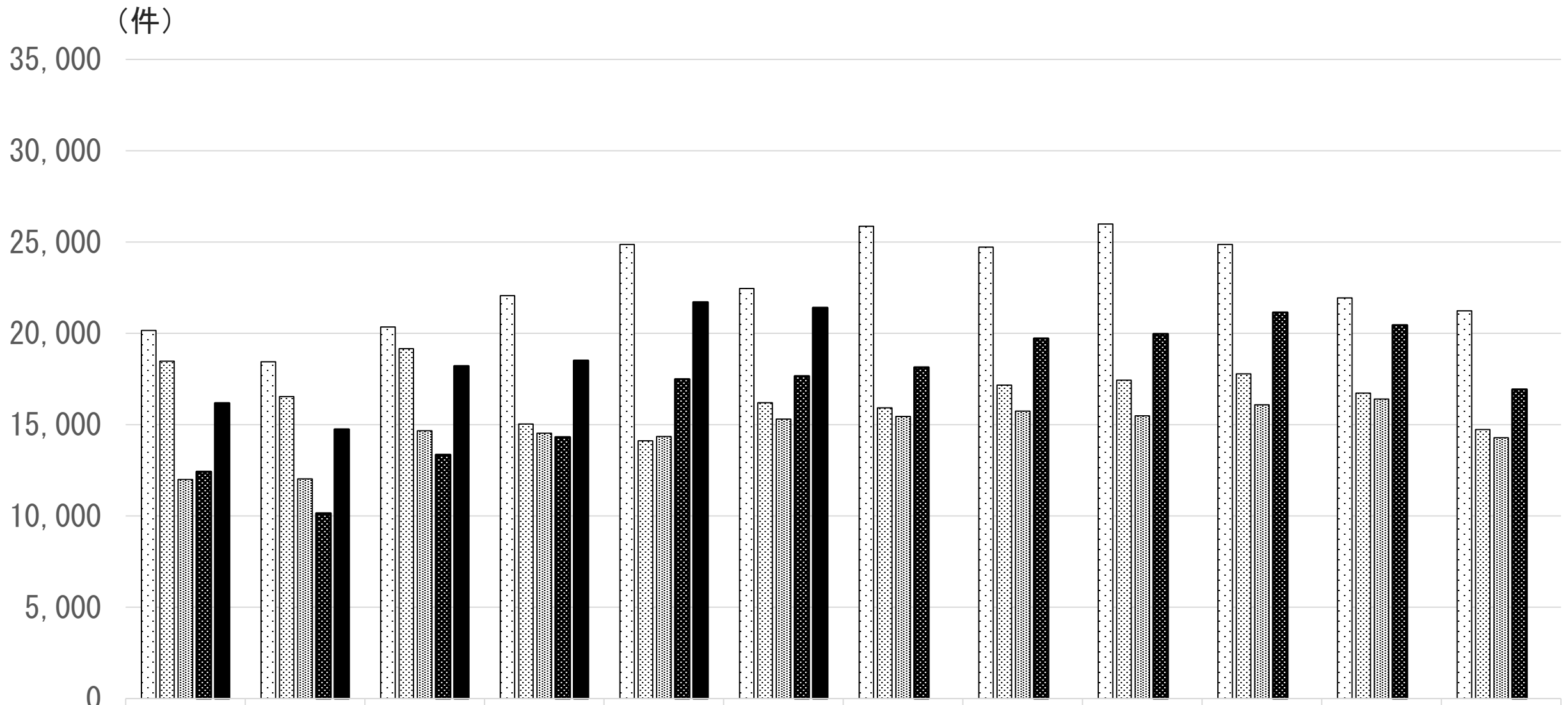


令和5年上半期における人口千人当たりの刑法犯の認知件数は2.7件となり、令和4年(年間4.8件)の上半期(2.2件)から増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期(2.9件)と比較すると、減少となっている。

街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数の推移



令和5年上半期における街頭犯罪の認知件数は11万744件となり、前年同期比で29.7%増加した(侵入犯罪の認知件数は2万7,741件となり、前年同期比で28.0%増加、街頭犯罪及び侵入犯罪以外の認知件数は19万4,518件となり、前年同期比で15.9%増加した)。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、街頭犯罪の認知件数は13.7%減少となっている(侵入犯罪の認知件数は18.8%減少、街頭犯罪及び侵入犯罪以外の認知件数は3.3%減少した)。



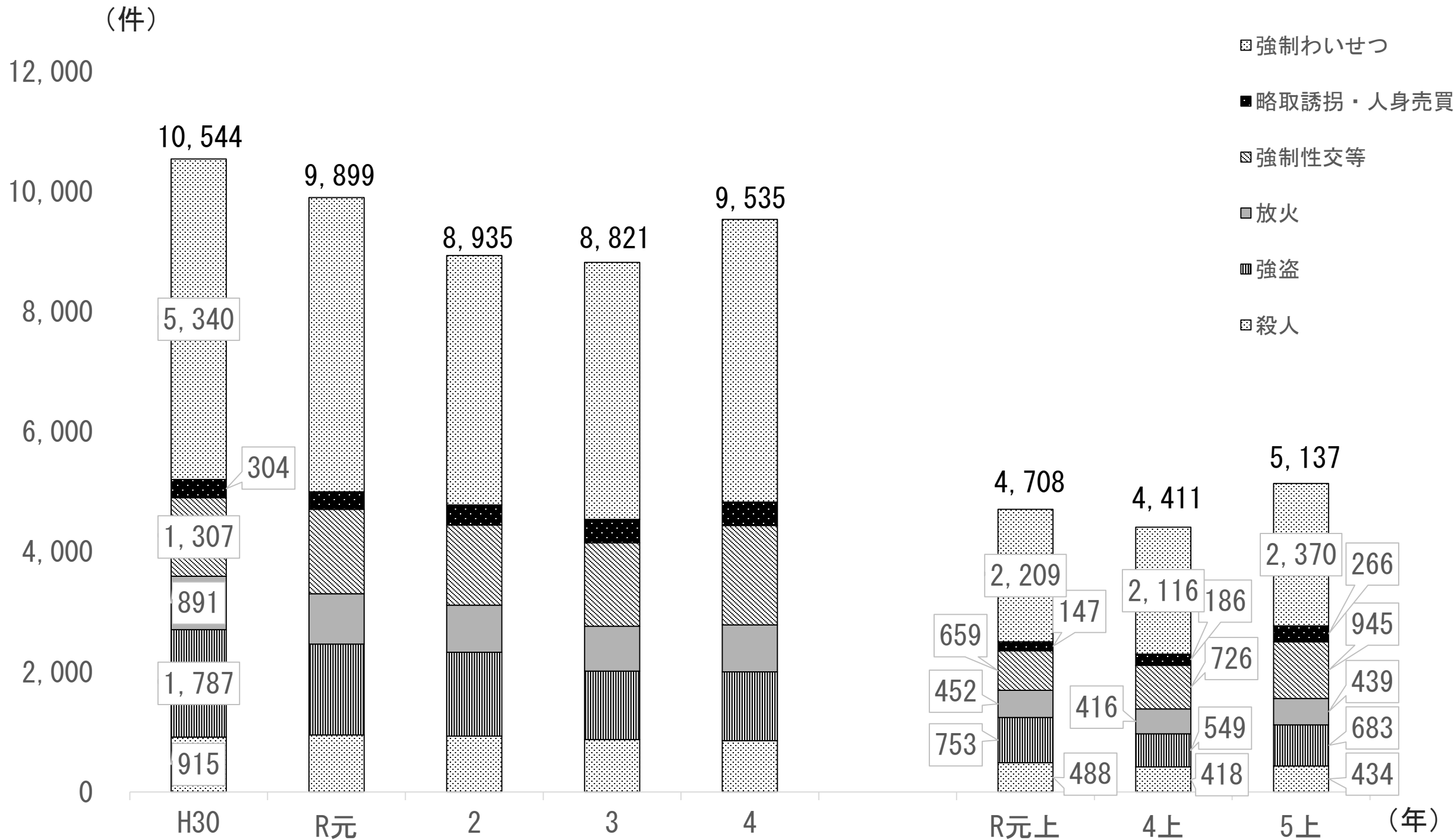
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ R元	20,156	18,444	20,344	22,062	24,872	22,456	25,867	24,724	25,994	24,867	21,941	21,229
▨ R2	18,472	16,538	19,154	15,035	14,118	16,198	15,914	17,160	17,435	17,782	16,730	14,732
▩ R3	11,990	12,024	14,667	14,530	14,347	15,299	15,447	15,742	15,485	16,089	16,404	14,278
▣ R4	12,417	10,139	13,354	14,312	17,492	17,661	18,144	19,719	19,966	21,145	20,450	16,923
■ R5	16,178	14,738	18,201	18,513	21,709	21,405						

R5 対前年同期比	30.3%	45.4%	36.3%	29.4%	24.1%	21.2%	-	-	-	-	-	-
--------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---	---	---	---	---	---

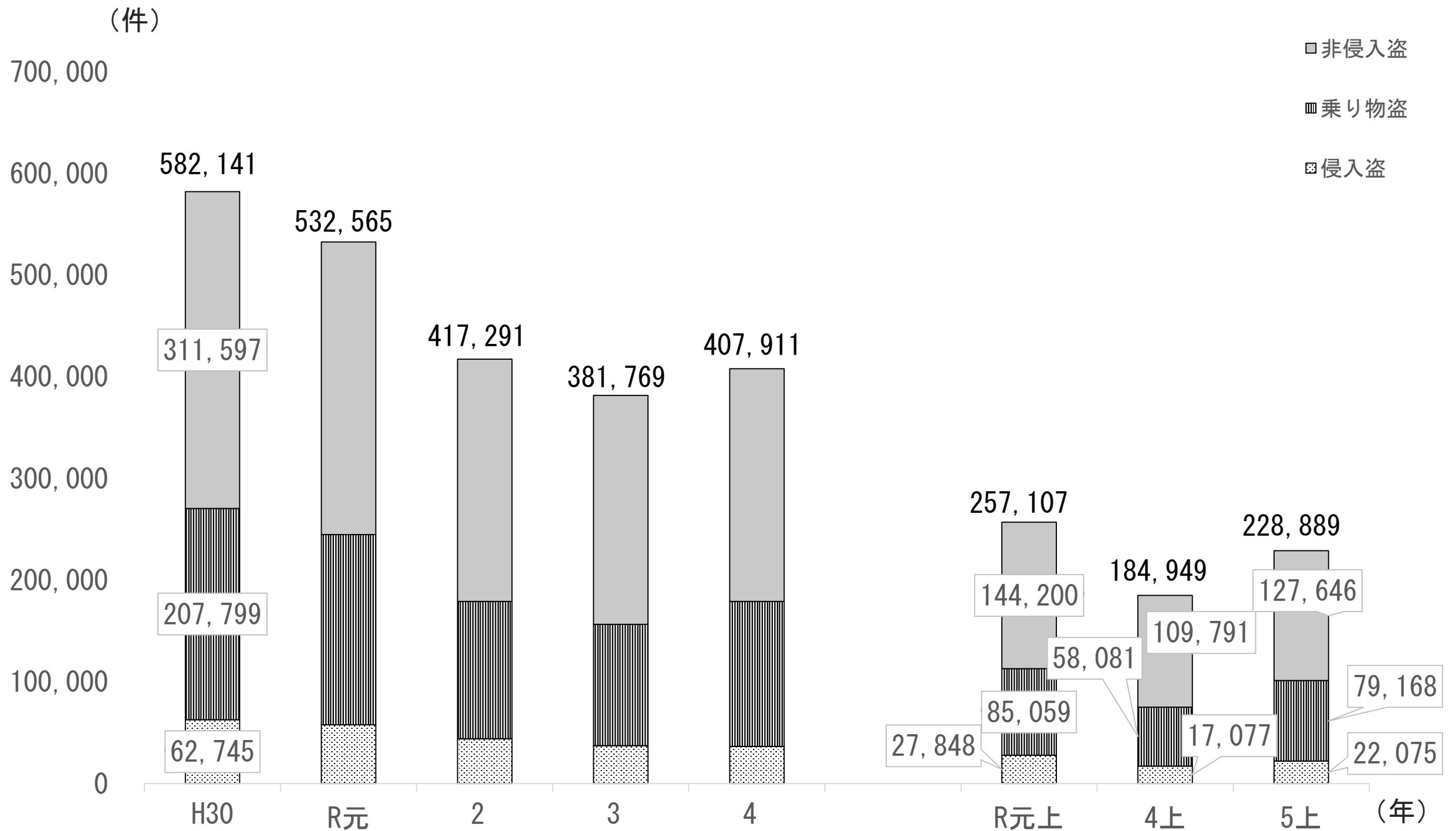
令和5年上半期における月別の街頭犯罪の認知件数を見ると、全ての月において対前年同月比で増加となっている。

重要犯罪の認知件数の推移

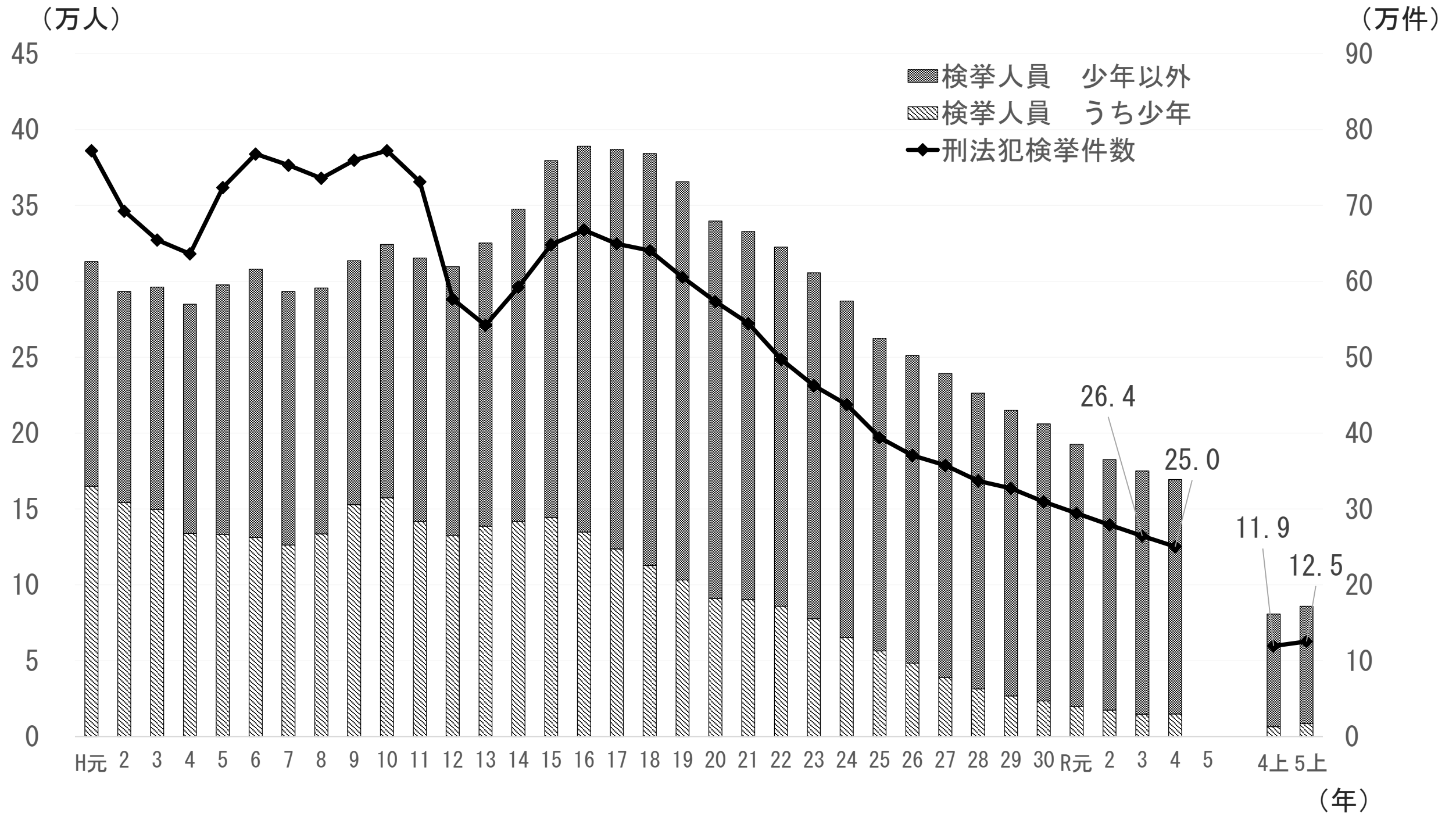
(重要犯罪：殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買、強制わいせつ)



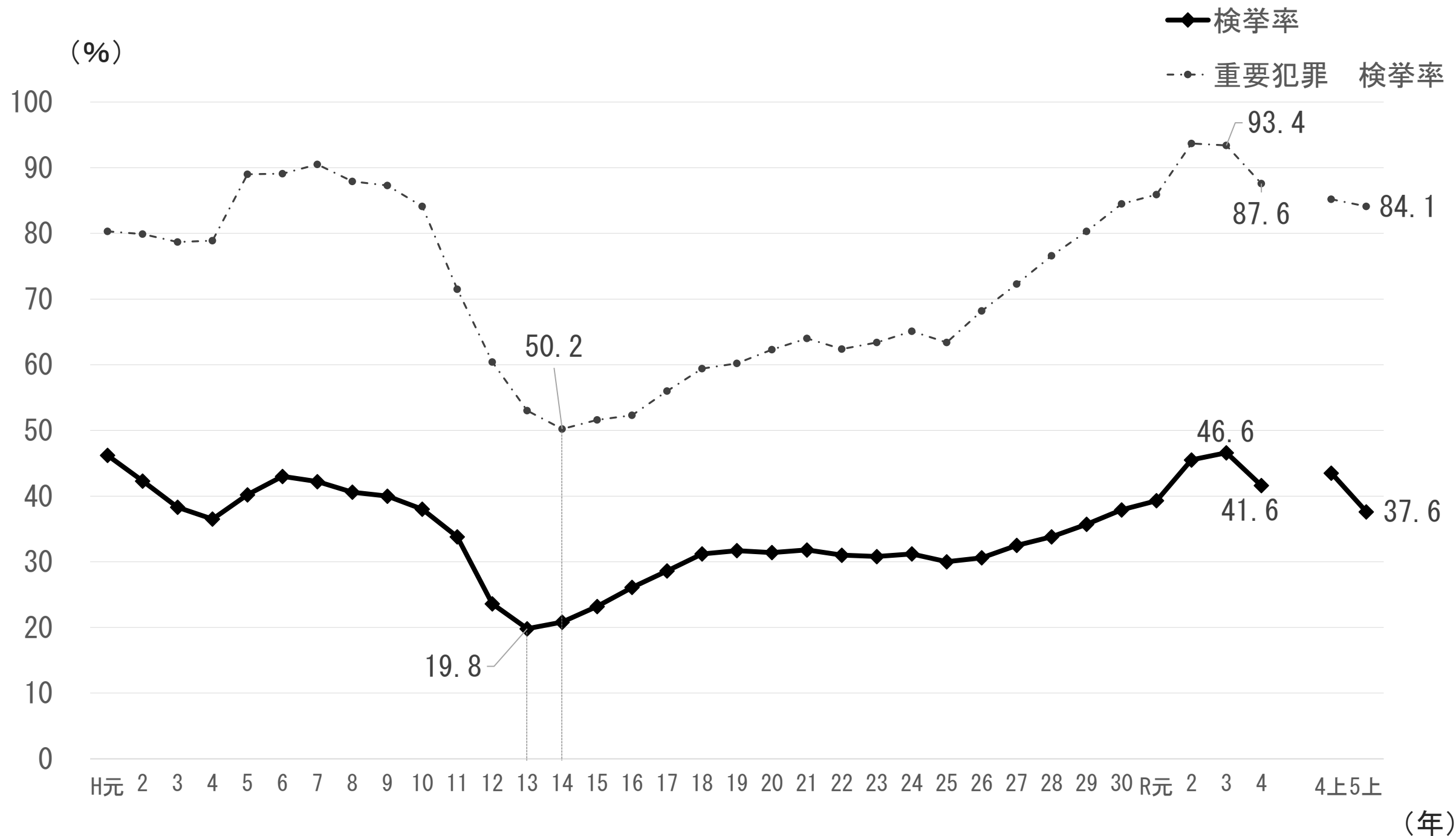
令和5年上半期における重要犯罪の認知件数は5,137件と、前年同期比で16.5%増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、9.1%増加となっている。



令和5年上半期における窃盗犯の認知件数は22万8,889件と、前年同期比で23.8%増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、11.0%減少となっている。



令和5年上半期における刑法犯検挙件数は12万5,335件、検挙人員は8万5,884人で、ともに令和4年の上半期(11万9,470件、8万710人)を上回った(それぞれ前年同期比で4.9%、6.4%増加)。少年の検挙人員は8,511人で、検挙人員全体の9.9%となった(令和4年上半期は全体の8.1%)。



令和5年上半期における刑法犯の検挙率は37.6%で、前年同時期で5.9ポイント減少、重要犯罪の検挙率は84.1%で、前年同時期より1.1ポイント減少した。